

Q: 配当増額や中期経営計画と比較して中々株価へ反映されないので特に機関投資家向けへの市場対話方法を考えて頂けませんか？

A: 当社は長年のGC注記から見られる赤字体制やガバナンス体制の不備、上場廃止基準への抵触を新しい経営体制で改善致しました。次の2025年8月期の本決算をベースとして機関投資家様向けのIR戦略を今の段階から検討しております。具体的には、ラージミーティングを行い、そこからスモールや1 on 1に繋げていく。また、SNSも活用し、プレゼン動画等をアーカイブに残していくという方法も検討しております。既にお問い合わせを受けている投資家様もいらっしゃいますが、具体的に動かれるのは秋以降にならないかと予想しております。

Q: 市場への透明性を高めていくのであれば来期の業績開示をしない理由は何かありますか？

A: 5ヶ月の変則期決算による予測の難易度増及び新しい会計監査人就任による監査方針の刷新に伴う支払い手数料等の整備コストが考えられるため、期初の段階で中途半端な業績開示をすることがステークホルダーの皆様への不利益に繋がると考えております。2026年8月期は精度の高い業績予想を出せるように致します。

Q: ウェルミネラルを入れると味が結構変わりました。

A: 入れすぎかと思えます。使用量を今一度ご確認ください。

Q: LBOをしてから株交のM&Aを狙っていくのが良いと思います。

A: 当社は自己資本比率の向上及び黒字化体質への変化に伴い、銀行取引を開始していけるように努めてまいります。過去の説明会時にも申し上げたように明らかに既存株主様に不利益になるようなトレーディング的な100%希薄化や無謀な普通株式の発行のようなことは私（代表取締役）は行いたくないと考えております。同時に大きな借入に伴う財務体質の悪化も避けたいのでバランスをとりながらMA戦略を推進していきたいと考えております。あくまで中長期のホルダー及びパートナーになり得るようなMAが可能になる場合、LBOと株交のバランスを考えながら進めていきたいと思っております。

Q: 金色麦茶のキャップを黒にしまいましたか？別の色が良いと思うのでご検討ください。

A: 以前お示しさせて頂いたように黒にする予定ですが、株主の皆様のご意見も反映できるよう検討してまいりたいと思っております。